

古代アメリカ学会第17回研究大会プログラム

主催：古代アメリカ学会
共催：国立民族学博物館

8：30 ー受付開始ー

9：15ー9：20 ー開会の言葉ー

(調査速報の部)

- 9：20ー9：40 「ペルー中央高地アヤクーチョ谷、
タンタ・オルホ遺跡出土の形成期の土器」
土井正樹（京都文教大学非常勤講師）
- 9：40ー10：00 「形成期、パコパンパ遺跡における冶金
ー銅製錬および金製錬と銅製品・金製品の製作ー」
荒田恵（国立民族学博物館外来研究員）
清水正明（富山大学）
中島真美（富山大学）
清水マリナ（富山大学）
- 10：00ー10：20 「ペルー北部高地パコパンパ遺跡における偶蹄類利用」
鶴澤和宏（東亜大学）
関雄二（国立民族学博物館）
マウロ・オールドーニェス（ペルー国立サン・マルコス大学）
ディアナ・アレマン（ペルー国立サン・マルコス大学）
フアン・パブロ・ビジャヌエバ（ペルー国立サン・マルコス大学）
- 10：20ー10：40 「ペルー北高地パコパンパ遺跡における金製品を副葬した墓の発見」
関雄二（国立民族学博物館）
フアン・パブロ・ビジャヌエバ（ペルー国立サン・マルコス大学）

小休憩（10分）

- 10：50ー11：10 「アステカ王国史における自然災害の神話的解釈」
井関睦美（明治大学）
- 11：10ー11：30 「エル・サルバドル共和国チャルチュアパ遺跡における
地下レーダー調査」
伊藤伸幸（名古屋大学）
柴田潮音（エル・サルバドル文化庁考古課）
- 11：30ー11：50 「マヤ北部低地における石彫マスクの調査速報」
多々良穰（東北学院榴ヶ岡高等学校）
- 11：50ー12：10 「マヤ文明世界遺産の遺跡マネジメント
ー金沢大学のティカル計画紹介ー」
中村誠一（金沢大学）

昼休憩（80分）

(研究発表の部)

- 13 : 30-14 : 00 「形成期における地域間交流と社会変化：
ペルー北部ワンカバンバ川流域を事例として」
山本睦(埼玉大学非常勤講師)
- 14 : 00-14 : 30 「アンデス縦断の視点からの形成期セトルメント試論」
鶴見英成(東京大学総合研究博物館)
- 14 : 30-15 : 00 「ペルー、カンパナユック・ルミ遺跡における
神殿の再利用に関する考察」
松本雄一(国立民族学博物館)
ユリ・カベロ＝パロミーノ(ペルー国立サン・クリストバル・デ・ワマンガ大学)
エディソン・メンドーサ(ペルー国立サン・クリストバル・デ・ワマンガ大学)

小休憩(15分)

- 15 : 15-15 : 45 「シユモッコ政体の社会政治構造：土器胎土分析にもとづく
先スペイン期ティティカカ湖盆地南西岸史の考察」
佐藤吉文(国立民族学博物館外来研究員)
- 15 : 45-16 : 15 「ワリ帝国における地方支配—ペルー北部高地、
エル・パラシオ遺跡の発掘調査」
渡部森哉(南山大学)
- 16 : 15-16 : 45 「土壙墓からみえてくる先古典期マヤ南部地域の社会」
市川彰(名古屋大学大学院・日本学術振興会特別研究員)

17:00— —総会—

※非学会員の方もご参加いただけます。ただし、資料代 500 円が必要となります。

また、非学会員の方は、大会チラシをご印刷・ご持参いただき、自然文化園中央ロゲート係員に提示しますと、午前 10 時以降、自然文化園が無料で通行できます。